



建築技術性能証明書

技術名称：オチロック工法
－既製 RC 柱状材による地盤補強工法－

申込者：越智建設株式会社 代表取締役 石川 勝幸
北海道苫小牧市新開町三丁目 11 番 4 号

技術概要：本技術は、軟弱な粘性土地盤に正六角錐台形状の既製鉄筋コンクリート柱状材を圧入し、これを地盤補強材として利用する技術である。本技術の特徴は、先端から頭頂に向かってテーパを有する補強材を用いることで、補強材と周辺地盤との周面摩擦抵抗を増大させ、支持能力の向上を図っていることである。

開発趣旨：先端支持力に期待する支持杭工法は、軟弱層が厚くなると杭長を長くする必要があり、また、地盤沈下に伴って杭の突出が生じるなど、小規模建築物の基礎工法として採用するには問題となることがある。本技術は、周面摩擦抵抗の増大を意図した形状の定尺の補強材を基礎下に配置することで、所要の支持能力を確保しながら地盤と基礎が一体となって挙動することを意図して開発したものである。

当財団の建築技術認証・証明事業実施要領に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2007 年 11 月 6 日

財団法人 日本建築総合試験所
理事長 森田 司郎



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

- 資料①：性能証明のための説明資料
- ②：設計・施工基準
- ③：載荷試験資料

資料①には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。
資料②は、本工法の設計・施工基準であり、設計フロー、支持力度算定式などの設計方法の他、使用材料、施工方法および施工管理方法が示されている。
資料③には、資料①で用いた個々の載荷試験結果報告書などが取りまとめられている。

証明内容：申込者が提案する設計・施工基準に従って設計、施工された補強地盤の設計で保証すべき長期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力は、設計基準に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力度算定式で適切に評価できると判断される。